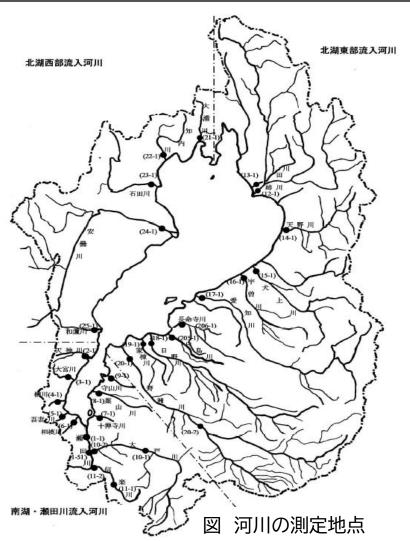
他の河川の状況(公共用水域水質測定結果より)

- 水質汚濁防止法に基づき「公共用水域測定計画」を作成し、琵琶湖および河川に設定された環境基準の達成状況を把握することなどを目的として琵琶湖および河川において、定期的に水質調査を実施。
- 河川については、環境基準設定河川等、29地点で水質調査を実施。
- なお、河川における水質調査は、数日間晴天が続き、水量が安定している日に行うこととしている。



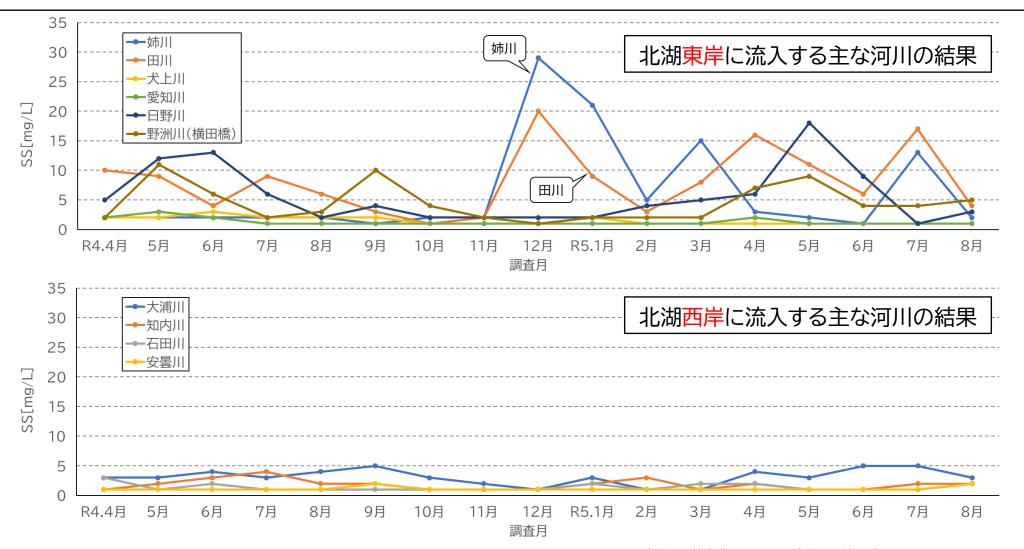
○ 環境基準設定河川

瀬田川、天神川、大宮川、柳川、吾妻川、相模川、十禅寺川、葉山川、守山川、大戸川、信楽川、姉川、田川、天野川、犬上川、宇曽川、愛知川、日野川、家棟川、野洲川、大浦川、知内川、石田川、安曇川、和邇川

- 河川における水質調査の頻度 月1回
- 河川における主な水質調査項目
 - 生活環境項目
 気温、水温、流量、透視度、<mark>浮遊物質量(SS)</mark>、水素イオン濃度(pH)、
 溶存酸素量(DO)、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、大腸菌数、全窒素(T-N)、全りん(T-P)など
 - 健康項目カドミウム、全シアン、鉛、六価クロムなど

公共用水域水質測定結果(浮遊物質量:SS)

○ 北湖東岸に流入する河川では、5月頃に一部の河川で代掻きの影響によりSSがやや高い値を示している。 ○ 姉川と田川では、令和4年12月以降、SSが高い値を示すことがある。



※ 定量下限値未満については、定量下限値でプロットしている